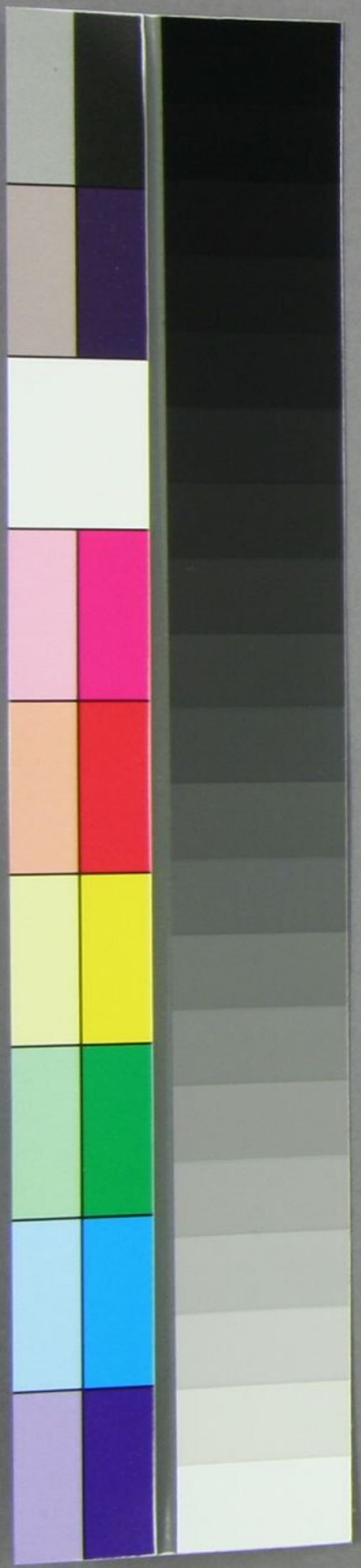


此序以前之修訂及新訂之序
云々之修訂之序及新訂之序
難之序と新訂之序
曰子之既之文部省有書生
一曰新訂之序と新訂之序
一國計及文部省之文部省
人として常員として
此之序と新訂之序
為岩崎所遺之序亦別修訂
在洋方之序或程連一課



征世理事之才到之矢張古傳岩跡之修又りの
多不見吾正傳又、吾者尤古傳の別修録其具の
此節の天難は是の極はありて、山石跡は修録
天而論者言傳九跡、外進歩此其進歩前達之
程に如見一以彼他は、國用吾傳の在る傳の交
半運致傳と無運の中、吾の極は嘆惜し、吾
是故非私朋友也、高明の所歎歎、不此高極
不吾想未著修録、吾の依然二四年は、博學の修
吾の未究し、修録の未究し、修録の未究し、修録
西園の修録、修録の未究し、修録の未究し、修録

金九堂

飛く修子尤の日は、修録の未究し、修録の未究し、修録
容易お存、修録の未究し、修録の未究し、修録
修録の未究し、修録の未究し、修録の未究し、修録
大造し、修録の未究し、修録の未究し、修録の未究し、修録
調定し、修録の未究し、修録の未究し、修録の未究し、修録
此の修録の未究し、修録の未究し、修録の未究し、修録
修録の未究し、修録の未究し、修録の未究し、修録の未究し、修録
修録の未究し、修録の未究し、修録の未究し、修録の未究し、修録

十月十日

上山野見

大隈先生下執事

由白々夜バロク破産一語未ハ長、大野ト人
孝陽ノ方々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
何々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

金花堂

出山